

4歳ころからの絵本

ストーリーやテーマを理解する力が高まりますが、ゆっくり高まる子どももいれば、急速に高まる子どももいます。また、絵本のジャンルの好き嫌いが現れてきます。背伸びすることなく、子どもの心に寄り添った絵本を。

㉓ しりとりのだいすきなおうさま

中村 翔子／作 はた こうしろう／絵
すずき出版 1,430円



しりとりの大好きな王さまは、食事の時も食べ物がしりとりの順番にでてこないと気がすまない。おまけに最後は困った家来たちは…。親子のしりとり遊びに発展する絵本です。

㉔ めっきらもっきら どおんどん

長谷川 摂子／作 ふりや なな／画
福音館書店 1,100円



ある日、かんたがめちゃくちゃな呪文を唱えようと、ひゅうっとあなの中…。そこへやってきたのはへんてこりんなおばけたち。さてかんたとおばけたちは…？迫力ある絵で読者を惹きつけます。

㉕ おちやのじかんにきたとら

ジュディス・カー／作・絵 晴海 耕平／訳
童話館出版 1,650円



お茶の時間に来たとらに、家中の食べ物を食べられてしまったソフィー。夕飯はどうするの？鮮やかな色彩で描かれた、なんとも憎めない表情の礼儀正しい「とら」。うちにもとらが来るかもしれない……。そんな期待を抱かせてくれる一冊です。

㉖ でこちゃん

つちだ のぶこ／作・絵 PHP研究所 1,430円



お母さんに髪を切ってもらったら、てこちゃんが「でこちゃん」に！でも、お姉ちゃんのおまじないで、ほんわか元気になるれますよ！

㉗ アヒルかも！ウサギかも！

エイミー・クラウス・ローゼンタール／著 トム・リヒテンハルト／著
せきね みつひろ／訳 光文社 1,760円



アヒルなのかウサギなのか、何に見えるかはどう見るかで違ってくよ。

㉘ もりのなか

マリイ・ホール・エッツ／文・絵
まさき りこ／訳 福音館書店 1,100円



紙の帽子をかぶり新しいラップをもったぼくは、森に散歩に出かけます。森の中でライオン、ぞう、くま、カンガルーと会い、ラップを鳴らして行進です。子どもの冒険心を満たしてくれる一冊です。「ぼく」のお父さんを目標にするパパもいるようです。

79 これはのみのぴこ

谷川 俊太郎／作 和田 誠／絵
サンリード 1,980円



ページをめくるとに文章が一行加わっていく積み上げ歌と和田誠さんの色彩豊かな絵が、子どもたちを惹きつけて止まない絵本です。この絵本をヒントに家族で積み上げ歌遊びなんて素敵ですよ。

81 せんたくかあちゃん

さとう わきこ／作・絵 福音館書店 1,100円



なんでも洗濯してしまふ、せんたくかあちゃん。落ちてきた雷さままで洗っちゃいます。元気なかあちゃんの奇想天外な楽しい絵本。同じ作者の「ばばあちゃんシリーズ」もおすすめです。

83 すてきな三にんぐみ

トミー・アングラー／作 今江 祥智／訳
偕成社 1,320円



黒いマントをきたこわーい泥棒三人組。奪った馬車に乗っていたのは、みなしごのティファニーちゃん。お城にあったお宝をみてティファニーちゃんが一言。意外な展開に！

パパとママの

ひとくち
エピソード

保育参観で、まもなく年長組になる子どもたちに、先生が読んでくれた絵本です。「それを伝えたかった！」と思い購入。そのまま読んでも親子で笑顔になれますが、「おおきくなるっていうことは」の後を子どもなりの成長に変えて読むと、とっても喜ぶます。今では、最後のページの「みんな」を子どもの名前に変えて、誕生日や進級のたびに読んであげています。

80 はじめてのおつかい

筒井 頼子／作 林 明子／絵
福音館書店 1,100円



近くのお店までひとりでおつかい。みいちゃんだけではなく、お願いしたお母さんだって心配でドキドキなのですが、子どももしっかり成長しているんですね。みんなが経験するはじめてのドキドキ。いろいろなことができるようになった、お手伝いに興味津々の年頃におすすめの一冊です。

82 からすのパンやさん

かこ さとし／作・絵 偕成社 1,100円



からすのパンやさん一家がいろいろなパンをつくり、森中のからすが買いに来ます。「にわとりパンがいい!!」「ひこうきパンがいい!!」と、親子でわいわいおしゃべりしながら読んでほしい本です。続編もでています。

84 おおきくなるっていうことは

中川 ひろたか／文 村上 康成／絵
童心社 1,430円



大きくなって“できるようになった”喜びがいっぱい。子どもに話したいことを自然に温かい気持ちで伝えながら、成長と一緒に喜べる絵本です。

85 にぎりめしごろごろ

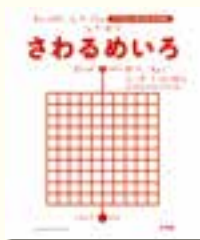
小林 輝子／再話 赤羽 末吉／画
福音館書店 990円



和紙に描いた赤羽末吉の美しい色調と、ユーモラスな絵が昔話の世界へと導きます。「むかし、あったけずおん。」方言の語り口調も魅力的です。

86 さわるめいろ

村山 純子／著・デザイン 小学館 2,090円
点字つき絵本の出版と普及を考える会、岩田 美津子／協力



線を指でなぞってゴールを目指そう！簡単なものから難しいものまでであるよ！幾何学模様の色がとてもきれいな、点字付きさわる絵本です。広げると1枚の大判になるよ！

87 ちいさなヒッポ

マーシャ・ブラウン／作 内田 莉沙子／訳
偕成社 1,320円



ちいさなかばは、どんな時でも「グアオ！」とさけぶのよ。おかあさんのそばにいれば、怖いものなしのヒッポでしたが、ある日ひとりで出かけてしまい…。木版画の迫力ある絵です。

88 いいから いいから

長谷川 義史／作 絵本館 1,430円



どんなお客さんにも決して動じることのないおじいちゃん。人生の達人ぶりを堪能できます。ゆたかな笑顔がうまれる一冊です。シリーズ化されており、各巻のいろいろなお客さんにも驚かされます。

89 ピッツァぼうや

ウィリアム・スタイグ／作 木坂 涼／訳
らんか社 1,650円



外は雨、ピートはごきげんななめです。「そうだ ピートでピッツァをつくったらたのしくなるかもしれないぞ」素敵なお父さんのアイデアで、すっかり笑顔に。まねっこも楽しそう。

90 ふゆめ がっしょうだん

富成 忠夫・茂木 透／写真 長 新太／文
福音館書店 990円



ウサギさんがいたり、コアラ君がいたり…。身近にある木々の冬芽の顔のような表情にびっくりです。思わず外に出て冬芽を探してみたくなりますよ。長新太さんの文で、冬芽たちの春を待つ気持ちが鮮やかに表現されています。(写真絵本)

パパとママの

ひとくち
エピソード

二女が4歳頃に夢中になった絵本です。休みの日は、居間で読み聞かせをしたあとに近くの公園で散歩。冬芽を見つけては、一緒にセリフをつけて遊びました。父と娘の触れ合いを深めてくれた一冊です。もう高校生ですが、時々、「あの頃、よくお散歩したよね。」と言う娘の言葉にうるうるしてしまう父です。

91 バナナじけん

高島 那生/作 BL出版 1,540円



車からバナナがひとつ落ちました。そこへ猿がやってきてパクツ、そしてポイッ。するとそのあと…?

92 たまごのはなし

ダイアナ・アストン/文 シルビア・ロング/絵
千葉 茂樹/訳 ほるぷ出版 1,650円



リアルな絵もわかるようになってくる年ごろ。いろいろな生きもののおたまごにまつわる絵と話が楽しいです。美しいたまごの絵を指差しながら、親子で会話も弾みます。

93 キャベツくん

長 新太/文・絵 文研出版 1,430円



キャベツくんがおなかのすいたブタヤマさんに会いました。キャベツくんは食べられないようにヘビやゴリラに変身。空いっぱいに広がるクジラのキャベツ。絵を見ているだけでも楽しいですよ。

94 なまえのないねこ

竹下 文子/作 町田 尚子/絵
小峰書店 1,650円



表紙いっぱいに描かれたねこちゃんは、名前がないただのねこ。名前前で呼んで欲しいと思っているけれど誰も名前を付けてくれない。そんなある日、ベンチの下で雨やどりしていると優しい声が聞こえてきた。

95 ゆらゆら チンアナゴ

横塚 眞己人/写真 江口 絵理/文
ほるぷ出版 1,430円



水族館の人気者！砂の中に半分隠れているチンアナゴ。チンアナゴは魚？ミミズ？へび？なにを食べているのかな？不思議なチンアナゴのことが、よくわかる写真絵本です。

96 こんとあき

林 明子/作 福音館書店 1,430円



あきのおばあちゃんが作ってくれたぬいぐるみ「こん」。ほころびを直してもらおうと、こんとあきの旅がはじまります!!ドキドキ・ハラハラ。でも、ほっこりする絵本です。

パパとママの

ひとくち
エピソード

夫の仕事の都合で引越す際、知人から娘にといただいた絵本です。すごく気に入ったようで、毎日読んでいました。そんなに気に入ったのならばと、家族旅行は鳥取砂丘へ。絵本に出てくる犬が、こんを埋めた場所をみつけ、はしゃぐ娘の姿は忘れられません。こんなに良い思い出を作ってくださったこの絵本と、プレゼントしてくれた知人に感謝です！